

県指定文化財

7 銅造 如来形立像（厨子入り） によらいぎょうりゅうぞう



奈良時代の特徴的形式である編袒右肩（へんたんうけん）の肩布（かたぎぬ）を身につけています。右腕は焼損被害と考えられますが屈臂して修復されています。左腕も屈臂し左腹前で掌を仰ぐ。台座は、蓮肉・反花・丸框までが当初部で、本体・反花座ならびにその下の台座丸框までを一鑄で製作され、台座の上に両足をそろえて立っています。制作年代は奈良時代（8世紀中葉～後半）頃とされ、本町での奈良時代における貴重な文化財です。